

解答

一

- 問一 ① 染〔まった〕 ② 反射 ③ 乱〔れ〕 ④ 観客 ⑤ 想像 ⑥ 呼〔び〕
⑦ 断〔る〕 ⑧ 単純
- 問二 イ 居場所がなく、いこちが悪い気持ち。
- 問三 自分より相手が優れていることを認めて、敬意をはらっていた。
- 問四 美奈がゆうかをきらって年賀状を書かなかったわけではないことを知リたかったため。
- 問五 美
- 問六 エ
- 問七 似たにおい
- 問八 ア
- 問九 ウ
- 問十 （楓雅が）仲がこじれた美奈とゆうかを気にかけ、美奈を訪ねて話し、二人の間の仲立ちをする（物語。）

二

- 問一 ① 残念 ② 届（き） ③ 興味 ④ 操縦 ⑤ 羽織 ⑥ 温泉 ⑦ 水蒸気
- 問二 ハオリムシの細胞の中の微生物が養分を作りハオリムシを育てる一方、微生物にとっては敵が来なくてすみやすいという、たがいに利益をもたらしあって生きる関係。
- 問三 イ
- 問四 大変な水圧で、日光が届かないため、暗さや冷たさに対応しなければならないから。
- 問五 エ
- 問六 宇宙人がいるかもしれないですね。
- 問七 ウ
- 問八 ア
- 問九 イ

解説

一

問六 本文の中盤にある美奈との会話に着目します。「あたしさ、ほら、わーっと、気持ちとかおさえられなくなっ
て、きついこと言っちゃったりするから」や、「だから、ゆうかが……っていうか、人が、人と近づくのが、
こわくなったのかも」という言葉から、選択肢エが選べます。

問十 終わりにある「美奈の瞳（ひとみ）から、雪どけのひとしくみみたいな涙（なみだ）がつうつとこぼれおち
た。」から、美奈とゆうかの間のわだかまりがなくなっただけが読み取れます。本文には、クラスのなかで居
場所がなかった楓雅が、自分と仲のよかった二人がもめていることを心配して、美奈と話をし、そのこと
がきっかけとなり二人が仲直りできたという様子が描かれているので、これらの内容をわかりやすくまとめ
ます。

二

問四 波線(1)の後にある中村の言葉から理由がわかります。いちばん大変なのは水圧であり、まったくお日さまの
光が届かないので、暗くなるし、冷たくなることを説明します。

問九 本文の中盤にある「細胞の中で微生物が」く「これで解けたんですね。」の部分に着目します。ハオリムシの
中の微生物は真つ暗なところにいるため、お日さまは関係なく、熱水がふき出すところで養分を作っている
ことが説明されているので、選択肢イがあつてということがわかります。